

住民向けDXプラットフォーム「みんなのやくば」 セキュリティ対策方針について

株式会社十勝情報システム

2026年10月21日

1. はじめに

昨今、国内において情報漏えい事案が相次いで報じられており、大切な個人情報をお預かりする行政サービスにおいて、情報セキュリティの確保はこれまで以上に重要となっております。

当社が提供する住民向けDXプラットフォーム「みんなのやくば」におきましても、こうした状況を重く受け止め、国内外の事例を参考に、リスクを分析し、日々対策の見直しと強化を行っております。

2. 基本方針

当社は、外部からの不正アクセスへの対策、システム内部の保護、データの安全な保管など、複数の段階でセキュリティ対策を講じる「多層防御」の考え方を基本としています。

3. 技術的な対策

対策項目	内容
CDN／WAFの導入	CDNおよびWAFを導入し、DDoS攻撃によるサービスへの影響軽減や、Webアプリケーションに対する不正なアクセスの検知・遮断を行っています。また、不正アクセスのリスクが高いと判断される国・地域からのアクセスを制限しています。また、セキュリティ強化の一環として、日本国外からのアクセス制限の拡充を進めています。
Firewallの導入	あらかじめ許可された通信のみを通過させ、それ以外の通信を遮断しています。
IDS／IPSの導入	不審な通信や侵入の兆候を検知し、必要に応じて不正な通信を遮断する仕組みを導入しています。
Webアプリケーションの脆弱性対策	SQLインジェクション、XSS、CSRF等の代表的な脆弱性への対策を実施しています。あわせて、AIを活用したソースコードの脆弱性チェックを行っています。
脆弱性診断の実施	定期的に第三者の専門業者へ依頼し、脆弱性診断を実施しています。
ログの収集・保管	万が一の情報漏えい時に影響範囲を迅速に特定できるよう、アクセスログや操作履歴などを保管しています。
二要素認証の導入	個人情報にアクセスできる管理者のログイン時には、二要素認証を必須としています。
データバックアップ	ランサムウェアへの感染やシステム障害に備え、サーバーとは別の場所にバックアップを保管しています。

4. 使用しているクラウドサービス

使用しているクラウドサービスとして、政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）に登録されているクラウドサービス「Google Cloud（旧称：Google Cloud Platform）」を使用しています。

5. 組織的・人的な対策

- **社内教育の徹底**：ランサムウェア等を目的とした不審なメールの添付ファイルやリンクを開かないための教育をはじめ、情報管理および個人情報保護に関する社内教育を徹底しています。
- **専門人材の在籍**：セキュリティに関する専門知識を有する国家資格「情報処理安全確保支援士」の資格保持者が在籍し、セキュリティ対策を推進しています。
- **Pマークへの取り組み**：プライバシーマーク（Pマーク）の取得に向け、個人情報保護に関する管理体制の整備・運用を進めており、現在、取得に向けた審査を受けています。
- **万が一への備え**：サイバーセキュリティに関する事故に備え、サイバー保険（業務過誤賠償責任保険）に加入しています。

6. 今後の取り組み

本書作成時点において、当社サービスにおける情報漏えいは確認されておりませんが、情報セキュリティを取り巻く脅威は日々変化しています。当社は、国内外の事例や最新の脅威動向を踏まえ、今後も対策内容の見直しと強化を継続してまいります。

以上